

# 友愛と公共という新たな政治の地平

— 55年体制を真に超えるために —

日時 2010年2月14日（日） 10:00～18:00

場所 東京大学医科学研究所1号館大講堂

（東京メトロ南北線・都営地下鉄三田線白金台駅下車・徒歩1分）

参加費 1,000円

開会の挨拶 10:00-10:10 小林正弥（千葉大学教授）

【第1部 午前】

第1セッション 新しい公共 10:10～12:00

山脇直司（東京大学大学院教授） / 鈴木寛（文部科学副大臣 参議院議員）

松井孝治（内閣官房副長官 参議院議員）

【第2部 午後】

第2セッション 友愛と公共圏 13:00～15:00

小林正弥（千葉大学教授） / 根本清樹（朝日新聞論説副主幹）

15:00-15:15 休憩

第3セッション 友愛の精神を持って新たな公共圏で活動する人々 15:15～17:05

金子郁容（慶應義塾大学大学院教授） / 土井香苗（国際NGOヒューマン・ライツ・ウォッチ  
日本代表） / 木戸寛孝（国際NGO世界連邦運動協会 理事）

最終セッション 会場の参加者との対話 17:05～17:50

ナビゲーター：鈴木寛（文部科学副大臣 参議院議員）

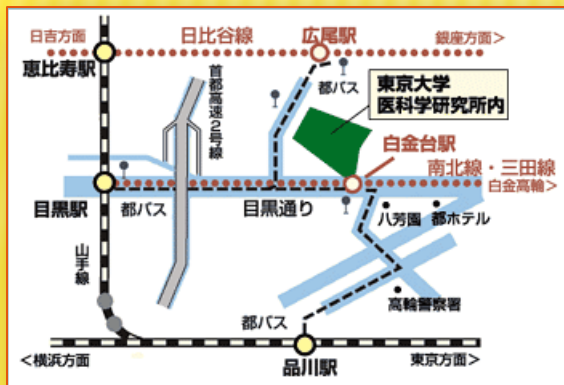
宮野悟（東京大学医科学研究所教授） 境田正樹（弁護士） 小松秀樹（虎の門病院泌尿器科部長）

池本修悟（NPO法人創造支援工房フェイス代表理事） 古田秘馬（丸の内朝大学プロデューサー）

佐藤孝治（株式会社ジョブウェブ社長）ほか多数

閉会の挨拶 17:50-18:00 山脇直司（東京大学大学院教授）

司会：木戸寛孝（友愛公共フォーラム 事務局長）



## <受付・お問合せ>

ご来場を予定されている場合は、「氏名/所属/連絡先」をご記入の上、下記事務局までe-mailまたはFAXにてお申し込みください。  
当日参加も可能ですが、事前にお申し込みいただきました方を優先的にご案内いたします

※定員は160名・先着順。本人確認のため、会場受付にてお名刺を頂戴させていただきます。また、プレス関係者は別途お席をご用意しておりますので、当日会場にてお申し出ください。

友愛公共フォーラム事務局 担当：成田好孝  
〒150-0002 東京都渋谷区渋谷2-7-9 青山AZITO  
TEL: 03-6427-3780 / FAX: 03-6427-3781  
e-mail: info.ui.koukyo@gmail.com

# 友愛公共フォーラムについて

## 友愛公共フォーラム設立趣意

日本政治史上、初の本格的政権交代が実現し、新政権は「友愛」や「新しい公共」という優れた理念を政権の考え方（公共哲学）として掲げている。この政治的大転換は、明治維新直後の大変革の開始にたとえられるであろう。これは、単に政権交代の実現にとどまらず、古い政治的枠組みを超えて、「友愛公共」の理念のもとで、21世紀における新しい政治を切り開く可能性を持つからである。

「友愛」とは、西洋においてはギリシャ以来の思想史的背景を持ち、近代フランス革命のバックボーンになった。これは、人類の様々な倫理の中核たる「愛」の一つの形態であり、政治的コミュニティを支える絆の役割を果たす。

私たちの言う「新しい公共」とは、日本では「公」がしばしば国家や官僚のことを表してきたのに対し、人々が「共」に自発的に議論し形成して実現する「公共」を表す。これは「民の公共」と呼ぶべき価値理念であり、国家や官僚のあり方は、この「公共」に基づいて再構成され、運営されなければならないのである。

このような「友愛公共」の理念に基づいて、根本的変革が行われることは、日本政治の進展のために決定的に重要である。旧来の政治に退却することは時代の逆行そのものであり、これらの理念は新政権の命運を超えて日本政治に実現してゆかなければならない。

しかし、残念ながら、マス・メディアやそこに登場する評論家・学者などの相当部分は、自民党政権時代の古い考え方に囚われ、的外れの論評を行っている。政治的理念や政策的展開について十分な論評がなされず、政局や党派的对立に焦点を当てているのである。思うに、従来は、自民党政権の政治が余りにも旧態依然たるものだったので、政治批評が容易であった。ところが、政権交代によって最先端の思想的・学問的な理念を踏まえた政権が成立したために、その理念や政策を論評することが困難になってしまっているという事態が生じているのである。

そこで、私たちは、思想的・学問的な観点も踏まえて、この新しい試みが様々な政策領域において重要な意義を持つことを明らかにし、それを巡る最新の議論を公共の世界に提示し、良質の公論を喚起したいと思う。友愛や公共といった理念に即して、政策に関して、内在的な議論・提案・批判ないし批評を行う「公共の場」を形成し、それを公開することによって、友愛政治の健全な進展に寄与したい。

ある意味では、これは、従来の議会政治、官僚制度、アカデミズムや、マス・メディアなどの公共圏が十分な機能を果たしていないことを憂えて、友愛や公共という理念を中軸にした良質の公共圏を形成して公論を発展させる試みである。これが、「友愛公共」の理念のもとで、日本の政治文化の飛躍的展開に貢献することを祈る次第である。

2010年2月1日

### 設立発起人

池本修悟（NPO法人創造支援工房フェイス代表理事）稲垣久和（東京基督教大学教授）井上英之（ソーシャル・ベンチャー・パートナーズ東京代表）大久保和孝（新日本監査法人パートナー）賀川啓明（賀川記念館館長）金子郁容（慶應義塾大学大学院教授）加山久夫（賀川豊彦記念松沢資料館館長 明治学院大学名誉教授）木戸寛孝（国連認定NGO世界連邦運動協会理事）倉阪秀史（千葉大学教授）小林正弥（千葉大学教授）境田正樹（弁護士）庄司真理子（敬愛大学教授）鈴木寛（文部科学副大臣 参議院議員）土屋了介（国立がんセンター院長）橋口寛（橋口寛事務所代表）伴武澄（財団法人国際平和協会会長）平田オリザ（劇作家）広井良典（千葉大学教授）福山哲郎（外務副大臣参議院議員）古田秘馬（丸の内朝大学総合プロデューサー）松井孝治（内閣官房副長官参議院議員）山脇直司（東京大学大学院教授）

※2月1日時点。50音順

## 友愛公共フォーラム発足記念シンポジウム開催趣旨

日本政治史上、初の本格的政権交代が実現し、新政権は「友愛」や「新しい公共」という優れた理念を政権の考え方（公共哲学）として掲げています。この政治的大転換は、明治維新直後の大変革の開始にたとえられるでしょう。これは、単に政権交代の実現にとどまらず、古い政治的枠組みを超えて、「友愛公共」の理念のもとで、21世紀における新しい政治を切り開く可能性を持つからです。

そこで、私たちは「友愛公共フォーラム」を結成し、これらの理念と政策をめぐって継続的にシンポジウムを開催し、その内容を公表してゆくことにしました。これは、友愛や公共という理念を中軸にした良質の公共圏を形成して公論を発展させる試みです。これは、昨年11月のシンポジウム「友愛政治の理念とその可能性—コミュニティをつなぐもの」や、12月のシンポジウム「友愛と核廃絶—『スピリチュアリティと平和』」を受けて、議論をさらに本格的に展開させていくことを目指しています。

このフォーラムの発足を記念して、第1回シンポジウムを裏面のように開催します。友愛や「新しい公共」という理念とその政治的意味を正面から議論します。施政方針演説では、「新しい公共」が大きく打ち出され、円卓会議を開いて、5月までに具体的な提案をまとめることが明らかにされました。その関係者も含めて議論を行います。ご多忙の折とは存じますが、ご参集いただければ幸いです。